

【NO 478】

令和3年3月

長崎港（松が枝地区）岸壁・航路整備に伴う 航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、長崎港松が枝地区の岸壁築造工事における航行船舶及び工事作業船の航行安全対策について調査・検討した。併せて現在進行中の航路浚渫工事との同時施工における航行安全対策についても調査・検討した。

調査・検討にあたっては、入出港船舶の安全な航行を確保するとともに効率的な工事を実施するため、岸壁築造工事の施工計画を基に航行環境、航行船舶の実態と可航水域の関係を整理して課題を抽出した。その上で、作業船の退避を必要とする航行船舶の船型、工事作業船のアンカー展張範囲、工事作業船の航行経路等について確認し、長崎港の特性等を踏まえて必要な安全対策を取りまとめた。

特に、工事作業区域に隣接する松が枝岸壁に入出港する船舶の着離岸操船水域を確保するとともに工事作業の効率化を図るため、工事作業船のアンカー展張範囲に基づき松が枝岸壁を利用するクルーズ客船の船型に応じた工事作業船の退避エリアを詳細に検討し、加えて同客船の出島岸壁利用も提示した。

2 調査等概要

- (1) 調査概要
- (2) 基礎調査
- (3) 岸壁築造工事の航行安全対策の検討
- (4) 航路浚渫との同時施工の検討